

平成 25 年度 第 1 回ワークショップ『優先的に取り組むべき事業を考えよう』 全班まとめ

■：行政が中心にやるべきもの／●：住民、事業者が中心でやるべきもの／★：協働でやるべきもの／・：区分がなかったもの／（ ）：事業に関連する概ねの場所

基本方針	事業	事業を選択した理由	理由の総括
まちの暮らしを より安全に する	地域間を移動できる 道路整備 を進める	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども、お年寄りの安心できる道路。 ■これから宅配産業が発達する。道路が危険。 ■道がせまいところや一方通行が多い。混むところがある。 ■道路の狭い道が多い。(川之江北中学校西側道路) ■とにかく遅れている。30年前と変わっていない。 ■自由に身軽に移動できる。 ■車の渋滞の緩和。 ■渋滞解消のため。(宮の谷) ■道路は街の血管です。(宮の谷) ■東西間の道路整備。(宮の谷) ★他地域の人との交流。(市民会館東側道路) 	渋滞の緩和と安全性の確保のため
	歩行者 が安全に通行できる道路整備を進める	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども、お年寄りの安心できる道路。 ■歩行者が安心して通れる歩道ができれば車道等道路整備はついてくるのでは。 ■歩道が歩きにくい。子どもや高齢者は特に。 ■歩行者にとって歩きにくい。 ■道がせまかったり、歩道が整備されていない。 ■とにかく歩行者道が悪く、歩きにくい。 ■歩行者が安全に通行できる道路整備を進める。 ・道路を安全に通行できれば、高齢者や小さな子連れ家族がでかけやすくなり、にぎわいへ結びつく。 ・車社会なのだが、車を使わない子どもやお年よりなど、安心して歩ける道があればいい。 ■ウォーキングできるまちにしたいから(安全に)。(商店街周辺) ■歩道の不整備。(宮の谷) ■基本的に必要なことだと思います。(宮の谷) ★白線だけではあぶないところもあるので。(市民会館東側道路) ■道がせまいので危険である。 	歩行者にとって、安全・快適で歩きやすい道路整備のため
	駅の 東西連携 の強化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ★現存駅周辺がさみしい。(川之江駅) ■線路で分断されている。 ■駅の東西連携。通学や通勤を考えて。(川之江駅) 	東西連携とにぎわい創出のため
	利用しやすい 交通手段 を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ■誰でも自由に外出しやすい。 ■高齢者が多く、交通手段がないため、自家用車を無理して使う。(川之江駅) ・利便性の向上のため 	気軽に出かけやすくするため
	防災資機材 の整備を進める	<ul style="list-style-type: none"> ■各町ごとにすぐ利用できるように整備。 	すぐに利用できるようにするため
まちの暮らしを より安心に する	自主防災組織 づくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> ★高齢者、独居世帯が多くなっている。 ・災害の防止。 ★自助、共助、公助。 	災害防止のため
	住民の 防災意識 を高める	<ul style="list-style-type: none"> ★自分の身は自分で守る。 ★災害が起こった時にパニックにならないように。 ★防災については、まちをあげてとりくむべき。いざという時には、助け合う意識をもって、より安心して暮せるまちづくりを目指すが良い。 ■もしもの時に備える意識改革。 	助け合う意識を持って、もしもの時に対応できる意識改革のため
	地域防災計画 改訂を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の防災化、安心して住める町づくり。 ★特に最近自然災害が多くなっているので！ 	安心して住めるまちづくりのため
	防災有線告知システム 整備を進める	<ul style="list-style-type: none"> ★異常気象が続いているから。 ■もしもの時の情報伝達。 ■住みやすい町づくり。 ■災害時にパニックにならないために。 ■川之江地区は海ぎわ0m地帯に隣接し防災的に危険な位置にある。 ■防災の意識がうすい。 	災害時にパニックにならないよう、情報伝達ができるようにするため
	誰もが使いやすい施設 整備を進める	<ul style="list-style-type: none"> ■市民が安価で利用できるホール等が欲しいから。(市民会館) ■新規性のある施設。(市民会館) ★入れ物が必要。 ・少子高齢化のため。(市民会館) ・高齢者や小さな子どもたちが、利用しやすい施設を作ることが、何より住みやすい街づくりだと思う。(市民会館) ・車イスの方もいろんな所に行けるように。(市民会館) ・まだまだ高齢者には優しくない。(市民会館) ★今まであった型を新しくする。 ■高齢化社会に向けて必要です。 ■高齢者にも使いやすい施設が必要。(川之江公民館・市民会館) ■既存管理団体等の管理にとられない。(川之江公民館・市民会館) 	少子高齢化に対応するため
子ども、高齢者の ICT リテラシー向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ★高齢者人口の増加(増加する者の活性化のため)。 ★弱い人のため。 ・急がないとまにあわないので。 ★情報社会の為。 	情報社会に適應できるようにするため	
まちの暮らしを より元気に する	空き店舗 の活用を進める	<ul style="list-style-type: none"> ●人のにぎわいにつながる。(商店街) ★人通りが少ないので、多くの人が集いやすく。(商店街) ★シャッター通りの商店街では情報発信してもしょうがない。商店街以外でも目立つようになった。(商店街) ★にぎわい創出につながるだけでなく、様々な事業を行える。(商店街) ★街がさびしいです。(商店街) 	にぎわいにつながるため
	公衆トイレ 改修を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ■一番人が集まる場所なので、もう少し使いやすいようにしたらいいと思う。(栄町第2駐車場) ■もう少し使いやすくきれいに使用又は掃除。(栄町第2駐車場) ・高齢者や小さな子どもたちが、利用しやすい施設を作ることが、何より住みやすい街づくりだと思う。(市民会館) ■安心して買物ができる。(栄町第2駐車場) ■数と質。(栄町第2駐車場) 	今より使いやすくし、安心して買物ができるようにするため
	既存のイベント や祭を活発にする	<ul style="list-style-type: none"> ★祭りをもっと魅力的に。(商店街) ★秋祭り等市民含め、他県からの来客数が少ないと思ったから。(商店街) ★秋祭りもだんだん縮小し、せっかく川之江の一大イベントなのに、もったいない。(栄町第2駐車場) ★入込客の増加につなげることで、市のアピールもできる。(栄町第2駐車場) ★新しく始めるより楽に人を集めやすい。(栄町第2駐車場) ★形のあるものを充実させる。 ・入込客を引き寄せる力のあるイベント、魅力作り。 ・秋祭り。紙祭り。 ★今のイベントの中で新しい事をする。(商店街周辺) ・にぎわいがまちの活性化になるから。(商店街周辺) ・何か一つ、大きなイベントを行う。(商店街周辺) ★書道甲子園が三島へ。 ★四季折々のイベントの更なる充実。 ★紙まつり等の強化 ・ペースがある。思い入れもあり、集客に繋がる。 	思い入れもあり、にぎわいがまちの活性化につながるため
	新たなイベント を企画、実施する	<ul style="list-style-type: none"> ★入込客の増加につなげることで、市のアピールもできる。(栄町第2駐車場) ★新しい発見が必要かと。 ・街の活性化には、他市よりの人を集めるには、イベント。 	若者のパワーを発揮し、多くの人を

基本方針	事業	事業を選択した理由	理由の総括
		・にぎわいがまちの活性化になるから。(商店街周辺) ●若者のパワー発揮する場必要。(川之江運動場)	集めるため
にぎわいづくり	地区内の魅力資源発掘を行う	★地域の見直しができる。 ★自分の町を知り、自信を持って川之江を誇れるようになる。にぎわいにもつながると思う。 ★まだまだ魅力のある資源を知らない。 ・川之江にはおいしいものがたくさんある！！ ・伝統工芸。 ・向山古墳、川之江城、江戸時代の古文書、尾藤二洲。	自信をもって、川之江を誇れるようになるため
	観光・回遊マップを作成する	★街の魅力の発信。 ■もっと多くの人に町のよさを知ってもらいたい。 ★町の活性化。(商店街周辺) ・今まで見かけたことがないので。 ★人が集まるよう周知啓蒙が必要。情報発信の仕方。(資源はある)	街の魅力の発信のため
	回遊案内サイン整備を行う	■場所がわかりにくい。人にも教えにくい。(幹線道路) ■県外の人達にわかりやすく。 ・回遊案内。	来訪者にもわかりやすく回遊できるようにするため
	川之江地区の魅力を情報発信する	■良い物が伝わってない。 ・新しいイベント、街の魅力等により、入込客の増加を図る。 ★川之江の魅力をPR、集客。 ★四国の中央の利点を発信。(川之江公民館) ★他県にも知ってもらい、町全体を活発にしたいから。(川之江公民館)	広く、良いものを知ってもらいたいため
人のつながりづくり	伝統文化の継承、地域交流を進める	■人、物、伝統 etc。(市民会館) ・川之江の文化獅子舞。秋祭り。	ひと・もの・伝統を継承するため
	自治会活動を活発化する	★地域のつながりの強化。 ★自治会を通じて、出やすい環境を作る。 ★高齢者が多くなる。 ★いつまでもつながりが大事だから。 ★町の活性化。(栄町第2駐車場) ★防災含めたつながりの強化が必要。(川之江公民館)	地域のつながりを強化するため
	まちづくりNPO・ボランティア等の育成を図る	★NPO 団体などを作ることで、行政の手の回らない部分を補えるから。 ★自治会活動、高齢者の参加も含まれる。 ★高齢者や子どもが楽しく暮らせる町に。 ★いつまでもつながりが大事だから。 ★市民全員のいろいろな活動に対して意識を高める。 ★ボランティアの交流によって大きな力になると思う。	団地の交流が大きな力になるため
	高齢者団体、子育て団体活動の促進を図る	■高齢者と子育て世代の交流 ★高齢者や子どもが楽しく暮らせる町に。 ★コミュニケーションの強化。 ●みんなが一緒にできる場。 ●老人クラブ、愛護班、PTA の活動をよくするため。 ●特に子育て。将来担うリーダー育成。(川之江運動場) ★最後は人と人のつながりが必要である。 ★地域全体でつながることができるから。	高齢者や子どもが楽しく暮らせるまちになるため
	高齢者の生きがいがづくり、社会参加支援を実施する	★これから増々ふえるのであろう団塊の世代等の居場所づくりと、力を利用できる。 ★高齢者や子どもが楽しく暮らせる町に。 ・施設に入っているお年より、一人暮らしのお年よりも、もっと外に出る場などがあり、交流することで、文化継承にもつながれば。 ★知識や技能の伝承。 ★高齢者が元気に活躍することで、経済の活発化にも寄与する。 ・高齢者の活力を引き出す。	高齢者の活力を引き出すため
—	新規 1 新規 2 (スポーツ施設の充実)	■新規性のある施設。(市民会館) ■スポーツブームで小さな子から高齢の方までテニスやサッカーなど楽しんでいるが、施設がバラバラで大きな大会がしにくい。(浜公園川之江野球場)	— 大きな大会が実施しにくい

【選択された優先すべき事業の集計と傾向】

